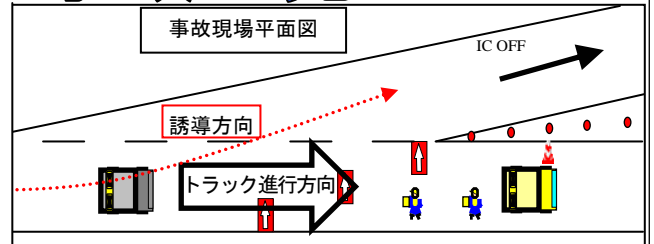


もらい事故による死亡事故が発生

<事故概要>

- ・規制テープ一部で交通誘導員2名が作業中であった。
- ・1名は注意喚起、1名は道具の後片付けを行っていた。
- ・4t貨物トラックが規制テープ一部に突っ込み、作業員2名と接触し、規制車に衝突し、停止した。
- ・病院への搬送後、作業員1名が死亡。1名は軽傷。



事故現場写真



規制状況写真



事故車両写真



<事故防止対策案>

- ・危険を感じたらすばやく退避する。
- ・「常に車が突っ込んでくるかもしれない」という意識を持って作業を行う。
- ・衝撃吸収ライフジャケットを着用するなどの対策を行う。

手袋を外した時の 静電気で発火

突風に煽られて 立看板が転倒

事故発生前



<事故概要>

- ・規制車に搭載している電光表示板の発電機の燃料（ガソリン）がなくなった。
- ・作業員がガソリン缶から補給中、手袋が邪魔になり外したところ、静電気が発生しガソリンに引火した。
- ・作業員が火傷を負った（軽傷）。
- ・規制車・電光表示板・発電機等が全焼。

事故車両写真



<事故概要>

- ・道路脇の工事予告看板が強風のため車道側へ傾いた。被害車両が避けきれず接触、4tトラック左サイドミラー全損、フロントガラス左サイドが蜘蛛の巣状にひび割れ。

事故状況写真



<事故原因>

- ・工事看板等の設置状況の点検が不足していたこと。

<事故防止対策案>

- ・固定部分等を日常的に点検する。
- ・強風等悪天候時は固定に問題がないか確認する。

(注意喚起)

- ・看板との接触事故は一步間違えば大惨事に繋がります。

- ・これから、春一番等の強風が予想されますので、転倒の危険がないか等今一度設置看板について確認・点検を行ってください。

<事故防止対策案>

- ・給油の際は、静電気防止の手袋を使用する。
- ・金属に触れるなど、静電気の除去を行う。

(注意喚起)

- ・冬期は空気が乾燥し、より静電気が発生しやすい季節です。
- ・引火の危険性を軽視せず、ガソリン等を扱う際は引火の可能性をなくすよう対策してください。

自ら運転する振動ローラに轢かれ負傷

事故現場写真



事故再現写真



<事故概要>

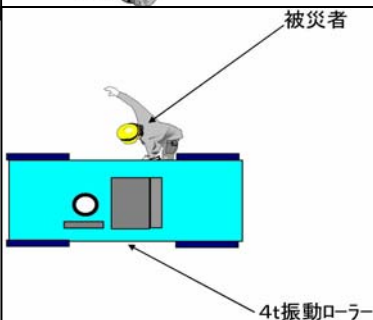
- ・ 転圧作業中、後輪に付着物が無いか確認するため、振動ローラに搭乗していた作業員が前・後進操作レバー（以降レバーという）をストップ側へ操作した。一時停止させて降りようとした際、着衣の安全ベルトがレバーに引っ掛かりそのまま転倒した。
- ・ レバーが運転側へ変わり、振動ローラが動き出し、作業員の膝から下を轢いた。
- ・ 近くにいた交通誘導員がレバーをストップ側に操作したが、転倒した作業員の膝から下の部分を轢かれる結果となった。

事故状況説明図



被災者

安全ベストが前・後進操作レバーに引っ掛かった



被災者

4t振動ローラ

(参考) 労働安全衛生規則
(運転位置から離れる場合の措置)
第160条
事業者は、車両系建設機械の運転者が運転位置から離れるときは、当該運転者に次の措置を講じなければならない。
一 (略)
二 原動機を止め、及び走行ブレーキをかける等の車両系建設機械の逸走を防止する措置を講ずること。
2 前項の運転者は、車両系建設機械の運転位置から離れるときは、同項各号に掲げる措置を講じなければならない。

<事故原因>

- ・ 着衣がレバーに引っ掛かったこと。
- ・ エンジンを停止させずに降車したこと。

<事故防止対策案>

- ・ 重機から降車する際は、必ずエンジンを停止する、またエンジンがきちんと停止したことを確認してから降車する。
- ・ レバーなどへ接触しないように、着衣について、特に乗り降り時に気をつける。

なお、振動ローラに轢かれる事故は、**昨年12月**にも発生しています。十分注意してください。

盗難事故が各地で発生しています!



- ・ 今年度も各地で盗難事故が発生しています。
- ・ ケーブル、高圧洗浄機等が頻繁に狙われています。
- ・ 盗難の防止については、容易に盗まれない対策を行ってください。

盗難未然防止対策案

- ・ 現場の**施錠は確実に**行う。
- ・ 鍵は**堅固**なものを使用する。
- ・ 現場に存置する**資機材は最小限**に抑える。
- ・ 置き場所も考慮する。
(外側から目に付かない、クレーン等で吊り上げられない場所)
- ・ 気付いた時点で**即対応・改善**する!

事例①

油圧式ポンプ2台(被害金額520万円)

- ・ バックホウのエンジンルーム内の油圧式ポンプがなくなっていることを発見。
- ・ 工事現場入り口のチェーンが切断されていた。
- ・ 付近には小型トラックのものと思われるタイヤ痕。バリケードは元に戻されていた。

発生時刻: 17:30~翌7:30頃

盗難状況写真



盗難対策として

- ・ エンジンルーム内に等辺山形鋼取付(左)
- ・ エンジンルームが開けられないようバックホウ2台を並列駐車(右)

事例②

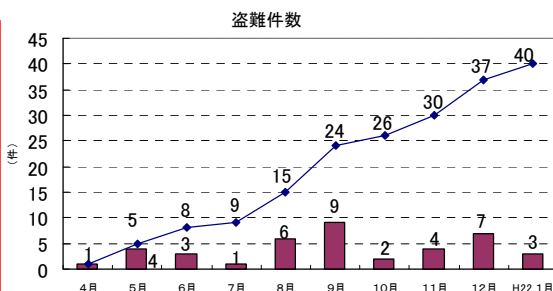
高圧洗浄機1個(被害金額40万円)

- ・ 現場出入り口付近に洗浄機を設置していたが、無くなっているのを発見。
- ・ バリケード封鎖は行っていたが、容易に進入が可能であった。

発生時刻: 18:00~翌7:30頃



高圧洗浄機設置箇所



- ・ 1月末現在で40件発生しています。
- ・ 夜間・休日等は特に注意して下さい。

3月1日から3月31日は 建設業年度末労働災害防止強調月間です。



主唱: 建設業労働災害防止協会
後援: 厚生労働省、国土交通省